

AOSSA 子ども家庭センター・子育て支援室・相談室（平成22年度）

URL <http://www.fukui-kosodate.jp/>

相談員 青井利哉

アオッサ子ども家庭センター・子育て支援室・相談室が開所し、4年が経過しました。地域子育て支援拠点事業を行う施設の中でも、比較的規模が大きいことで知られるセンター型の施設運営を行っています。類似のセンターは、福井市内に5ヶ所ありますが、当センターのように専門的な相談機能が併設され、さらに日曜や祝日に開所している子育て支援センターは、全国的に見ても珍しいです。近年の少子化と反するように児童虐待報告の増加や、子育て不安に悩みを抱える養育者の増加への対策として、子育て相談・支援の充実が図られています。その一方法として、子育て親子の交流の場の提供とともに、臨床心理士や社会福祉士等専門家が相談を受ける児童相談機能を加えることが、より子育て支援の充実につながると考えて対応しています。

平成22年度は新たに向瀬隆男室長を迎え入れました。基本業務の策定および事業計画等の見直しとともに、今後の事業の継続的運営について各方面との調整を行っています。

1. 平成22年度 センターの主な事業内容

【ほっとする場の提供】

「いっしょにうたいましょう」「おはなしだいすき」と称して、絵本の読み聞かせや、歌の会を月にそれぞれ2回開催してきました。ホームページなどを利用し広報してきました。参加者からは、「家庭でも実際にやってみみたい」など感想が多く聞かれています。しかし、アンケート調査の結果この行事の認知度は70%程度（平成22年3月中の全利用者を対象）と比較的高かったのですが、実際に参加した方は25%程度と参加率が低いことが分かり、企画構成などの課題が残りました。

【気軽に相談できる場の提供】

気軽に相談ができるような場を提供することは、子育て

支援室の基本的事業となっています。子育ての悩みや育児の不安を気軽に相談できる雰囲気をつくり、安心して子育てができるように応援していくことが目的となっています。平成22年度子育て支援室内で、保育士等により相談が行われた件数は537件でした。相談内容で最も多かったのは、発育に関することや、離乳・排泄・睡眠等基本的な生活習慣に関する相談が多くありました。

【子育てに必要なことを一緒に学びましょう】

子育て中の親に興味のあるテーマを計画し、子育てマイスターや外部講師をお招きして、子育て講座を月に1回以上の頻度で開催しました。子育て支援に関係する講座を開講することで、子育てに必要な知識を正しく伝えることを目的としています。平成22年度企画の講座に参加された方は747人となりました。

【子育て仲間をつくる、仲間の輪を広げる】

地域の特性を踏まえた子育て支援ネットワーク形成の活動を行うことで、アオッサのセンターが地域に根差した子育て支援が行えるようにすることを目的に、平成22年度より新規に取り組みました。具体的には、アオッサ周辺の地区である旭・順化・宝永への公民館へ訪問し、その地区の子育て支援委員会の構成員と勉強会を行いました。特に順化地区とは、地域の子育て支援情報を一元的、視覚的に提供できるような「子育て支援マップ」を一緒に作成することで合意し、準備を始めました。地域の子育て委員会との仲間づくりからネットワークの広がりを期待しています。

【仁愛女子短期大学生の受け入れ】

短大の授業科目の社会福祉援助技術を受講している学生が、短大教員の指導のもと、センターの見学実習に臨みました。センターにて、読み聞かせなどの活動を行うことで、子育て支援の実際を感じてもらうことが狙いでした。土日中心に2名ずつ、合計114名の学生を受け入れ

ました。保護者と一緒に子どもが在室しているので、学生は保護者に対して緊張や遠慮など、普段の実習とは雰囲気の違う様子に戸惑っている感じでした。しかしながら、その後の感想では「保護者支援の難しさを体験できた」など、子育て支援の援助の奥行きを知れる体験となったようでした。



体験実習の様子



仁愛女子短期大学乙部貴幸先生による講義

【福井市子ども福祉課との連携強化】

相談室は福井市子ども福祉課との連携強化に努めた年でした。要保護児童に関わる事例検討会への出席が47件、子ども福祉課職員との家庭訪問を83件行いました。これらの対応によって、連携の強化を図ってきました。

【子育て支援ボランティア養成講座の開催】

特に3歳未満の子どもを対象とした子育て支援の基礎講座を中心とした講座内容で、全5回の日程で今年度は2回開講しました。対象は、福井市民で子育て支援に興味のある方でした。市政広報等で広報した結果、第1回目は9名、第2回目は20名の受講生が集まりました。

今回のボランティア養成講座は3歳未満の子どもに関する内容に限定したため、受講生からは「内容に深まりがあり、大変参考になった」という意見が多数報告されました。

2. 平成21年度センター利用実績

表1は、子育て支援室と相談室の利用実績です。支援室の集計人数は、子ども人数と同伴者人数を合わせた総利用者数です。支援室は昨年度と比較してほぼ同数でした。相談室は約3割の利用増加でした。

支援室の利用状況を見ると、1ヶ月に1~2度利用する方が大部分を占めていました。継続的に来所できるような雰囲気作りが課題となりました。

表1 平成22年度センター利用（延べ人数）実績

下段（ ）は平成21年度実績 単位（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援室	1,112 (1,215)	1,062 (1,110)	1,085 (1,164)	1,381 (1,610)	1,327 (1,497)	1,511 (1,130)	1,180 (1,100)	876 (1,052)	918 (848)	976 (1,090)	1,159 (1,168)	1,430 (1,405)	14,017 (14,389)
相談室	319 (250)	323 (208)	388 (245)	363 (240)	321 (250)	311 (247)	307 (232)	277 (240)	299 (212)	278 (237)	255 (239)	273 (263)	3,714 (2,863)
合計	1,431 (1,465)	1,385 (1,318)	1,473 (1,409)	1,744 (1,850)	1,648 (1,747)	1,822 (1,377)	1,487 (1,332)	1,153 (1,292)	1,217 (1,060)	1,254 (1,327)	1,414 (1,407)	1,703 (1,668)	17,731 (17,252)